

第3種無災害記録の達成事業場を訪問

記録の継続に向け一層の取組を求める

令和4年12月23日

水戸労働基準監督署（小室順署長）管内の株式会社日立ビルシステム水戸事業所（ひたちなか市市毛1070番地、松浦厚事業所長）では、令和4年9月27日に第3種無災害記録（時間数700万時間）を達成し、11月28日付けで厚生労働省労働基準局長より無災害記録証を授与されました。

同事業所は昭和15年に設立し、約46万平米（東京ドーム約10個分、株式会社日立製作所鉄道ビジネスユニットを含む。）の広大な敷地でエレベーター、エスカレーターなどの開発、設計、生産を行っています。平成31年には、同事業所で製造した世界最速となる分速1260メートルのエレベーターがギネス世界記録に認定されています。



取組等を説明する松浦事業所長

令和4年12月23日、小室順署長、深津直哉安全衛生課長ら3名が同事業所を訪問し、労働災害防止対策や安全衛生活動などの実施状況を確認して、無災害記録の継続に向けた取組を求めました。



エレベーター研究塔

株式会社日立ビルシステムの労働災害防止に係る取組では、役員や事業所の幹部等による安全パトロールを実施して、災害防止に関する率先垂範の姿勢を示しているほか、リスクアセスメントや安全体感教育にも力を入れています。従来からリスクアセスメントには取り組んできましたが、リスク評価が定量的なもの中心となることや比較的改善しやすい事項に偏るなど、運用上の問題点が指摘されていました。

これらを解消するため、セーフティサブアセッサなどの有資格者が、実際にリスクアセスメントを担当する職場の主任、組長などに対して、リスクアセスメントを実施する理由の正しい理解を促し、リスクアセスメントで特に重要な正しい危険源の特定方法や結果のまとめ方などを教育して、リスクアセスメントをより効果的なものとするため見直しを推進しています。また、作業員一人ひとりの危険に対する感性を一層向上させるために安全体感道場を設置して、リスクの高い作業に関して体感教育を進めています。こうした取組により「安全に長けた人材作り」を目指しているところです。

小室署長は講評で、「災害防止は不安全行動をしない、させないことが何より重要。ルールを守って作業することを徹底し、第4種、5種無災害記録の達成に向け一層の取組をお願いしたい。」と語りました。

【連絡先】水戸労働基準監督署 029-277-7916